

# エネルギー・運輸分野における検討課題等について

平成 15 年 7 月 28 日  
エネルギー・運輸WG  
主査 鈴木 良男

## 1．検討の方向性

エネルギー、運輸分野については、当会議による既往の答申の流れを受け継ぎ、経済活性化に寄与する規制改革を引き続き推進するとともに、電力、ガス事業分野における自由化の進め方等および交通分野における安全規制の在り方についても、関係各省との議論の積み重ねにより、十分な検証・検討を行う。

## 2．これまでのWGの開催状況

第1回 4月21日(月)

- ・電力自由化について有識者ヒアリング

第2回 5月9日(金)

- ・電力自由化および運輸分野における諸規制について有識者ヒアリング
- ・今後の進め方について

## 3．検討テーマ

### (1) エネルギー

#### (a) 電力、ガスの全面自由化実施時期の前倒し

家庭用燃料電池による電力供給および家庭用燃料電池向けの都市ガス供給の全面自由化先行実施、自然エネルギーに限定した電力供給の全面自由化先行実施も含めた電力・ガス事業分野における全面自由化実施時期の前倒し。

#### (b) インフラ事業者間の分野横断的な公正競争の確保

- ・送電設備、ガス導管、情報通信網等のインフラを保有する事業者に関する区分経理と情報遮断の徹底、インフラ保有事業者による競争促進的な託送料金水準の設定等の新しい仕組み。
- ・電力、ガス、情報通信等インフラ保有事業者の他分野参入の実態に鑑みた、各事業法横断的な公正競争確保のための新しい仕組み。

#### (c) ガスネットワークの整備促進

一般ガス事業者の供給区域の廃止。

( d ) 原子力情報の公開

安全確保、発電コスト引き下げ等の観点からの情報の公開、透明性の確保。

( 2 ) 運輸

( a ) 内航海運業に係る参入規制の見直し

内航海運業に係る参入規制について現行の許可制を更に緩和し、健全かつ自由な事業活動を促す競争的市場環境を整備する必要性について検討を行う。

( b ) タクシーの駅構内への入構

タクシーによる駅構内への入構に制約があり、鉄道駅における「客待ち」が困難なことは、タクシー事業の新規参入に際し実質的な障壁となる可能性がある。これは基本的には民民（民間対民間）の問題ではあるが、ケースによっては、独禁法との関係において問題が生じているのではないかと検討を行う。

( c ) 車高規制、積載条件（車両総重量）の見直し

「規制改革推進3か年計画」に明記されているとおり、積載時の車高が3.8メートルを超える車両（コンテナ等を積載する車高4.1メートルの車両等）の通行、重量が車両制限令に定める最高限度を超える車両の通行に関し、安全性を確保し物流効率化を推進するための車高規制、積載条件（車両総重量）の見直しについて、平成15年度中に検討し実施する。

( d ) 高速道路における自動二輪車の二人乗りに関する規制

「規制改革推進3か年計画」に明記されているとおり、平成15年度の可能な限り早期に最終結論を得る。

( e ) 車検制度のあり方